

令和4年度 寺井小学校 重点目標達成に向けて

未来に必要な力

- ・society5.0 学び続ける
- ・SDGs
- ・学習指導要領
- ・石川県がめざす教育の姿
- ・能美市学校教育の目標
- 次世代を切り拓く人勢の育成と地域に根ざした学校づくり
- 「進んで学ぶ人」「感謝と思いやりの心を持つ人」「たくましい心と体を持つ人」

学校教育目的

安心して心開き、仲間と協働して粘り強く柔軟に考え、学び続ける寺井っ子の育成

みんなが「幸せ」な学校

子どもの実態

よさ 素直 前向き
真面目

課題 他人任せ
自信がない

教育目標（めざす児童像）

自分の考えを伝える子

考えのわけを話す 関わって話す

よさを見つける子

課題を見出し、使える材料を探し、見通しを立てる

R4年度 重点 学びの楽しさを取り戻す！

何ができるようになるのか（資質・能力）
○学校教育の基本

何が身に付いたか（評価）

- ①関わろうとする（聴く⇔話す）
- ②課題を見出し、使える材料を探し、見通しを立てる

- ①相手意識を持ち、自信を持って話す
- ②課題解決に向けてのプロセスのよさを実感する

PDCA

何を学ぶか（教育課程の編成）

どのように学ぶか（教育課程の実施）

- ①課題を自分ごととしてつかむ
- ②話す・聴くすべを身につける
- ③基礎学力（漢字・計算・教科言語・語彙・読書）を身につける
- ④教科でつけた力を表現活動などで活用する
- ⑤自分の力を高める家庭学習の習慣を身につける

- ①全員参加で学ぶ
- ②個別最適で協働的に学ぶ
- ③教科の特質に応じた見方・考え方を働かせて学ぶ
- ④教科横断的に学ぶ
- ⑤生徒指導の3機能が働いている授業を通して学ぶ

授業改善
ロードマップ

指導と評価の
一体化

学びの楽しさの実感

子どもの発達をどのように支援するか（全ての児童の学びを保障する）

- 一人一人の子どもを見取り、理解するよう努める
- 一人一人の子どもと向き合う時間を確保する
- 児童についての情報共有を密に行い、協働して支援する
- 支援員、保護者、関係機関と連携し、一人一人のニーズを把握した支援を行う

- 基本的な生活習慣を身につける
- 食育の充実を図る
- 楽しく体を動かす経験を増やす

実施するために何が必要か

- 子ども理解と教師との信頼関係を基盤とした学級づくり
- 子ども達の安全を守る高い危機管理意識（コロナ対策・いじめ不登校未然防止・けがの未然防止）
- 子ども一人一人を見取る授業づくりと校内研究の充実（ICTの効果的活用）
- 業務改善・働き方改革（ゆとりをもって子どもと接し、授業の振り返りや計画を立てる時間を確保）
- 発達支援センター、教育センター、医療機関等との情報共有及び協働と、職員間の密な連携と打ち合わせ

コミュニティ・スクール 学校運営協議会（家庭・地域との連携）

- ◎地域と学校が一体となって役割分担しながら、「みんなが幸せな学校」づくりを目指す。
- 家庭・地域との積極的な情報共有を図り、子ども達の健やかな成長を育むための連携・協働を進める。
- 基本的な生活習慣の確立と家庭学習の習慣化を図る。
- 学校評価等を通して開かれた学校づくりに努める。